

事務事業名		園芸振興補助金		所属部	農林振興部	所属課	農政課
総合計画体系	政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<産業>		所属G	農業G	課長名	熱田 勇二
	施策名	(36)農業の振興		担当者名	小林弘典	電話番号	0854-40-1051
	目的:対象	市内の農家	意図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。		(内線)	2415
	基本事業名	(107)農業基盤の整備		予算科目	会計 款 大事業 大事業名	農業振興事業	
目的:対象	担い手農家・担い手以外農家	意図	農業の生産性を維持・向上できるようにする。		項 目 中事業 中事業名	園芸振興補助金	
				0:1:3:0:0:2			
				0:5:2:5:8:4			

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間	
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	(年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
雲南市の産直振興、学校給食の野菜供給力の向上を図るため、JAしまね雲南地区本部が行う園芸振興対策(園芸ハウス設置事業:補助率1/3)を活用し、園芸ハウスを設置する生産農家に対し、事業費の1/6を支援する。	

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	30年度実績(30年度に行った主な活動)	元年度計画(元年度に計画する主な活動)				
	園芸ハウスを設置する生産農家に対し、事業費の1/6を園芸振興補助金として支出した。					
② 活動指標		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
ア	申請件数	件			4	
イ						
ウ						
エ						

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
	生産農家		ア	農家数	戸			3,894	
			イ						
			ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)	
園芸ハウスを整備することにより、年間を通じて野菜等の生産を行い、安定的な農産物の供給を図る。		ア	農産物販売額	千円			0	800	
		イ							
		ウ							

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (30年度決算)		② コストの推移		単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(計画)
補助金交付額:851千円(4件)		事業費	財源内訳	千円				
			国庫支出金	千円				
			県支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				
		一般財源	千円				851	
		事業費計(A)	千円				851	
		人件費	正規職員従事人数	人				2
			延べ業務時間	時間				40
			人件費計(B)	千円				173
			トータルコスト(A)+(B)	千円				1,024

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
平成30年度からの米の生産調整の廃止により懸念される米価下落に対する経営収支の改善や市内の産直推進及び学校給食での地元野菜等の利用促進に向け園芸の振興を図る必要が高まっている。	雲南市では農業ビジョンにより、園芸の振興を図っている。	園芸作物に取り組むためのハード整備支援が求められている。

事務事業名	園芸振興補助金	所属部	農林振興部	所属課	農政課
-------	---------	-----	-------	-----	-----

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合 →	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →	
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 JAしまね雲南地区本部の事業は平成30年度のみの実施であり、現時点では今後の実施予定はないため、向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無	<input type="checkbox"/> 影響有	理由 JAしまね雲南地区本部の事業は平成30年度のみの実施であり、現時点では今後の予定はないため、影響はない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 →	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	(具体的な手段や類似事業名) 国や県の事業を活用する
	<input type="checkbox"/> 他に手段がない	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	理由
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 県、国の事業を有効活用することで市の事業費の削減余地がある。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 JAしまね雲南地区本部の事業は平成30年度のみの実施であり、現時点では今後の予定はないため、削減の余地はない。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 市内全域について実施しており、公平公正である。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	今後も園芸振興の推進を図るための支援事業の検討が必要である。
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		×	低下		×	×
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持		×																	
低下		×	×																	
園芸作物を強く推進し、雲南市の産直、学校給食の野菜供給力の向上を図る必要がある。併せて支援事業の検討の必要がある。																				